

平成29年度

第10回大分県教育委員会 議事録

日 時 平成29年8月22日 (火)
開会13時35分 閉会14時25分

場 所 教育委員室

平成 29 年度
第 10 回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第 1 号議案 大分県立図書館協議会委員の任命について

第 2 号議案 大分県立歴史博物館協議会委員の任命について

(2) 報 告

①平成 29 年度特別支援学校技能発表会について

②平成 29 年度全国高等学校総合体育大会等の結果について

(3) 協 議

①平成 29 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検
及び評価について

(4) その他

【内 容】

1 出席者

委 員	教育長	工 藤 利 明
	委員	林 浩 昭
	委員	岩 崎 哲 朗
	委員	松 田 順 子
	委員	首 藤 照 美
	委員	高 橋 幹 雄

欠席委員なし

事務局	理事兼教育次長	宮 迫 敏 郎
	教育次長	岩 武 茂 代
	教育次長	木 津 博 文
	参事監兼教育財務課長	森 崎 純 次
	参事監兼学校安全・安心支援課長	宗 岡 功
	参事監兼特別支援教育課長	後 藤 みゆき
	参事監兼文化課長	佐 藤 晃 洋
	教育改革・企画課長	能 見 駿一郎
	教育人事課長	法華津 敏 郎
	福利課長	中 村 均 子
	義務教育課長	米 持 武 彦
	高校教育課長	姫 野 秀 樹
	社会教育課長	阿 南 典 久
	人権・同和教育課課長補佐	阿 南 修 次
	体育保健課体育・スポーツ振興監	加 藤 寛 章
	屋内スポーツ施設建設推進室長	山 上 啓 輔
	教育改革・企画課主幹	下 鶴 直 哉
教育改革・企画課主査	三 浦 晃 史	

2 傍聴人

1 名

開会・点呼

(工藤教育長)

それでは、委員の出席確認をいたします。
本日は、全委員が出席です。

ただいまから平成29年度 第10回教育委員会会議を開きます。

署名委員指名

(工藤教育長)

本日の議事録の署名委員でございますが、林委員にお願いしたいと思
います。

会期の決定

(工藤教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。
会議の終了は14時35分を予定しています。
よろしく申し上げます。

議 事

(工藤教育長)

はじめに、会議は原則として公開することとなっておりますが、会議
を公開しないことについてお諮りします。

第1号議案、第2号議案は、人事に関する案件ですので、地方教育行
政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、
これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

公開しないことに賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決)

それでは、第1号議案、第2号議案は非公開といたします。

本日の議事進行は、はじめに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行いますので、よろしくお願いします。

【報 告】

①平成29年度特別支援学校技能発表会について

(工藤教育長)

それでは、議事に入ります。

はじめに、報告第1号「平成29年度特別支援学校技能発表会について」後藤参事監兼特別支援教育課長から報告いたします

(後藤参事監兼特別支援教育課長)

報告第1号「平成29年度特別支援学校技能発表会について」報告いたします。

まず、1ページの①をご覧ください。技能発表会は、特別支援学校での職業教育の取組や成果を発表することにより、生徒の能力、適性についての理解と啓発を図ることを目的としています。平成27年度から県内の4～5会場で開催しており、今年度が3回目の開催となります。

②をご覧ください。今年度の開催状況をお示ししております。これまで、別府市、宇佐市、大分市の3会場において開催いたしました。3会場で、延べ277名の企業関係者の方々にご参加いただいております。日田市につきましては、大雨のため9月に延期いたしました。

9月に日田市、臼杵市での開催を予定しており、現在準備を進めているところです。

参加企業への案内については、学校に配置しております就労支援アドバイザーを中心に企業へ直接訪問して参加を呼びかけているところです。また、福祉保健部や商工労働部、更には大分労働局にもご協力いただいているところです。教育委員会のホームページにも公開をしています。

次に、発表内容ですが、③の写真でお示ししておりますように、発表は生徒が中心となって行い、作業の実演披露や作業製品の説明などを行

っています。

④に来場者からの感想を載せておりますように、雇用を前向きに検討したい、生徒の働く意欲が伝わった等の感想を多数いただいております。

2ページに、企業案内用のチラシを載せております。右上にありますように、この技能発表会が、”生徒と企業との出会いの場”となり、生徒達の”働きたい”という希望の実現に繋がればと願っているところで。報告は以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(林職務代理者)

発表内容について、もう少し詳しくお聞きかせください。

(後藤参事監兼特別支援教育課長)

学校の作業学習（木工・窯業）として行う製品の作り方や用途等について生徒が説明します。また、来場者からの質問に対し生徒が受け答えを行うことでコミュニケーション能力を見てもらいます。③発表内容の右端上にある写真は、県が行っているメンテナンス検定の様子です。アビリンピックと同じ作業内容を上級者が実演披露しています。

(岩崎委員)

参加状況を見ると参加事業所数が昨年度から少なくなっていますが、これまで行った3回の参加状況からご協力いただける企業はどのような状況ですか。

(後藤参事監兼特別支援教育課長)

1年目は福祉関係の参加者が多い状況でしたので、2年目は企業を中心に参加を呼びかけました。3年目の今年は、これまで来られた方たちが来られず人数が減ってしまった状況です。

(岩崎委員)

いろいろな企業の方々に参加いただき、就労率の向上に繋がることを期待しています。企業団体にはどのように呼びかけを行っているのでしょうか。

(後藤参事監兼特別支援教育課長)

教育長にもご協力いただき、中小企業家同友会、経済同友会等にも呼びかけを行っているところです。

(松田委員)

3～4年前に比べると企業側の理解が増え、生徒、保護者も協力的になってきていると思います。

ところで、この発表会に参加する生徒は選択したコースにより参加することになるのでしょうか。それとも卒業年度の1年間になるのでしょうか。

(後藤参事監兼特別支援教育課長)

参加する生徒は3年生が中心です。メンテナンスの上位級取得者や説明できる力を持っているのはやはり3年生となります。中には1年生や2年生が参加する学校もありますので、特に参加制限を設けているわけではありません。

(高橋委員)

企業の反応はどのようなものですか。

(後藤参事監兼特別支援教育課長)

年々企業の方々が評判を聞いて来てくださっています。先程も申しましたように1年目は福祉関係の方が主でしたが、2年目は就労支援アドバイザーの方が企業に声をかけてくれました。

平成30年度から法定雇用率も上がりますのでそのことを知っている企業の方々もお見えになっている状況です。

(岩崎委員)

職種でいうと製造業が多いのでしょうか。

(後藤参事監兼特別支援教育課長)

細かく分析しているわけではございませんが製造業が多いです。

地域にも因りますが、宇佐会場では自動車部品の工場などが多く、大分会場では製造業や接客業もありました。別府会場は福祉関係が多い状況でございました。

(松田委員)

賃金などの雇用条件はどのように決まるのでしょうか。

(後藤参事監兼特別支援教育課長)

一般就労の方は企業と雇用契約を結びますので、その前に賃金等の雇用条件を保護者や本人、学校関係者と一緒に聞いてから就職することとなっています。

②平成29年度全国高等学校総合体育大会等の結果について

(工藤教育長)

次に、報告第2号「平成29年度全国高等学校総合体育大会等の結果について」加藤体育保健課体育・スポーツ振興監から報告いたします。

(加藤体育保健課体育・スポーツ振興監)

それでは、報告第2号「平成29年度全国高等学校総合体育大会等の結果について」報告いたします。

1及び2にありますように、開催期日につきましては、7月28日(金)から8月20日(日)にかけて陸上競技等30競技が山形県をはじめ、南東北3県及び和歌山県で開催されました。なお、ライフル射撃競技につきましては、全国高校総体の実施種目ではありませんが、本県の競技力を毎年比較する上で成績一覧に反映させております。

3の成績ですが、(1)ベスト8以上に入賞した種目数を記載しています。上段の網掛け太文字の数字は今年度、下段は昨年度の数です。

まず、団体につきましては、優勝数が2種目、8位までの入賞総数が8種目で、昨年の12から4つ減となっております。個人におきましては、優勝数が6種目、8位までの入賞総数が39種目で、5つ増となり、団体・個人を含めた総数でも昨年の46から47へと入賞数を伸ばしています。

(2)には、ベスト8以上を記載していますが、団体では、7競技8種目、個人では13競技39種目が入賞しております。

2ページに詳細な記録を掲載しておりますのでご覧ください。

団体では、バレーボール競技女子の東九州龍谷高校が4年ぶりの優勝、また、フェンシング競技男子で別府翔青高校が昨年引き続き2連覇を達成しました。その他の団体入賞については、記載のとおりでございます。

次に、個人では、陸上競技女子100mで大分雄城台高校の兒玉選手、男子5000mでは大分東明高校のモゲニ選手が優勝しました。フェンシング競技では、別府翔青高校3年生の上野優斗選手と1年生の優佳選手が史上初となる兄妹優勝を成し遂げました。また、カヌー競技カナディアンフォアで高田高校、ライフル射撃女子エアライフルで由布高校の三重野選手が優勝しました。そのほかの個人入賞につきましては、2～3ページに記載しておりますので、後刻、御覧いただきたいと思います。

国民体育大会におきましては、第8位以上の入賞が天皇杯順位の競技得点となるため、全国高校総体での入賞数が本年の少年種別の競技力を見る上で重要となってまいります。今回の活躍を維持し、愛媛国体での活躍につなげるためにも引き続き、県高等学校体育連盟、県体育協会等

と連携して、重点的な選手強化を行ってまいりたいと思います。

現在、第72回国民体育大会（愛媛国体）の代表権をかけて、長崎県を中心に九州ブロック大会が開催されており、チーム大分一丸となって戦っております。今月27日（木）までの会期となっておりますので、最終成績については、次回の教育委員会で報告させていただきたいと思っております。報告は以上でございます。

（工藤教育長）

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

（高橋委員）

インターハイでケガ等は起きていないですか。

（加藤体育保健課体育・スポーツ振興監）

大きなケガの報告を受けてございません。

（松田委員）

総合得点、九州・全国での順位はどうなっていますか。

（加藤体育保健課体育・スポーツ振興監）

全国高校総体については、県対抗ではなく、学校対抗で行われますので、県毎で総合得点や順位を出すようなことはありません。

（松田委員）

国体に向けてはどのような状況ですか。

（加藤体育保健課体育・スポーツ振興監）

昨年度のインターハイの成績と比べ、ほぼ同程度の成績です。昨年度の成績は、一昨年に比べ遙かに良かったですが、そのレベルと今年の大会の成績は同レベルと考えています。国体に向けてですが、昨年の課題は、インターハイでの好成績を国体に繋げることができなかったことから、今年は、この力を国体で発揮できるように取り組んでいるところであります。

【協 議】

①平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(工藤教育長)

では、協議の①「平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」能見教育改革・企画課長から説明いたします。

(能見教育改革・企画課長)

〈説明概要〉

- ・点検・評価の枠組（趣旨、点検・評価の実施方法など）
- ・目標指標の達成状況
- ・主な課題と対応方針
- ・7月31日開催の長期教育計画委員会における主な意見

(松田委員)

就学前教育においては、認知能力よりも非認知能力を育成することが求められています。アクティブラーニングを絡ませて、幼児期から意欲や人との繋がりといった非認知能力を育成することが重要ではないでしょうか。小学生の不登校が増えているということですが、どこの学校において、どのようなケースでといった点を細かく分析していく必要があると思います。SCやSSWといった専門スタッフを配置しても不登校が改善されない場合はその原因をしっかりと分析してほしいです。クラス担任、校長・教頭が子どもたちと密な関係にあって、学校が子どもや親に期待されており、お互いの理解度が上がれば不登校は減るということをしかりと共有していただきたいです。

それから、中学の学力を伸ばしている市町村は、学校単位だけでなく、数学等の教科指導力向上に向けた教職員組織をバックアップしています。こういった市町村の自主的な努力が結果に結びつくことを期待しています。

(首藤委員)

昨年度の教育委員会会議において「指標の達成状況について、全体と重点の評価が乖離している点。引き続き努力すべき内容が残っているのに、全体評価がよく見えてしまうため、課題意識が薄まるのではないか」という問題提起を行いました。今年度は全体と重点の評価が一体的に行われておりますので、課題も具体的に示されています。随分と改善された印象を持ちました。

(能見教育改革・企画課長)

昨年度は前身の教育長計に係る点検・評価でありましたが、今年度から新教育長計に係る点検・評価に切り替わったことによる面があると考えられます。報告書の大きな構成は変更していませんが、新教育長計で

は県の長期計画で設定した指標を重点指標とし明確化を図ったことが影響した部分もあるのではないのでしょうか。個々の指標の達成状況は10ページ以降に整理していますが、達成状況が特に芳しくない指標については、「主な課題と対応方針」において分析・対応方針を整理しています。

計画委員会においても、「単に指標の達成率による評価だけでは不十分、取組のプロセスもチェックする必要がある」との意見を頂戴しているところです。17ページ以降の施策別進行管理表ではこの点も十分意識できていると考えています。

(首藤委員)

新たな長期教育計画の方がより具体的に実態把握ができる指標設定になっていると思います。

(能見教育改革・企画課長)

計画策定に際しては、前身の計画に比べより実効的な指標となるよう意識しました。中間見直しの際にも、この点を十分意識したいと思います。

(松田委員)

各市町村でも教育計画を策定しており、国や県の計画を意識して素晴らしいものを作っているところもあります。こういった計画も含めて実態把握に活かしてはどうでしょうか。

(林職務代理者)

高校において主体的に学ぶ生徒の割合が著しく不十分となっているのは残念です。インターンシップやグローバル人材の育成等の高校生が主体的に学べる取組を実施していると思いますが、何が足りないのかしっかりと検証して、改善策を講じる必要があると思います。

(姫野高校教育課長)

計画委員会においてもご指摘をいただいたところです。10ページの指標7「授業がわかると感じる生徒の割合」は授業における生徒の受け止め、指標8「主体的に学ぼうとする生徒の割合」は家庭等において生徒がどれだけ主体的に学ぼうとしているかを設定したものです。授業における生徒の意識は向上しており指標7は達成したものの、まだまだ指標8の主体的にという部分では改善の余地があります。今後はキャリア教育の充実を図るとともに、生徒の学びの姿勢を変えるようなインパクトのある授業改善を推進していきます。また今年度から中高接続を意識した取組も強化しているところです。

(松田委員)

日本の先生は昔自分が受けた授業から脱却できない部分があり、授業では児童生徒が理解しているかを確認しようとしています。一方イギリスでは、授業において分からないことがないかを確認しようとしています。こういった指導手法の面でまだまだ改善の余地があるのではないのでしょうか。

(高橋委員)

授業において疑問を持つことの大切さを教えることが重要だと思います。疑問を持つことで、それを解決するための手法を主体的に学ぶことに繋がるのではないのでしょうか。

(姫野高校教育課長)

疑問や関心からスタートし、知識を習得し、探究を深めていくことを繰り返す、いわゆる探究的な学びはとても重要だと認識しています。SSHやSGH校では特に成果を挙げており、高大接続改革においても求められています。授業改善においてはこの点をしっかりと意識して進めていきたいと思っています。

(高橋委員)

大分の子どもたちの課題であるコミュニケーション能力についてももしっかり育成していただきたいです。

(首藤委員)

高校の授業は生徒に主体的に考えさせる時間を設けるなど、随分と改善されてきたと感じています。

(岩崎委員)

学力の指標の達成率を見ると、学校訪問した際に感じられるように中学校では随分と授業が改善されてきたと思います。学校現場の努力が成果に繋がっているのではないのでしょうか。大分県長期教育計画委員から「教科指導力を上げるには、教科ごとの研修が不可欠」との意見が出されていますが、既に十分取り組んでいるのではないのでしょうか。このような点は計画委員会の委員の方々に十分に理解してもらえてないのではないのでしょうか。

(米持義務教育課長)

市町村ごとの取組はそれぞれ個性があります。各種調査で特に成果が上がった市町村を見ますと、教科ごとに複数の教員がいても近隣の学校

と合同教科部会を開催し、切磋琢磨できるような取組を行っていました。9月に学力向上検証会議を実施しますので、多くの市町村に取組が広がるよう、また地域によって差が生じないように進めていきたいと考えています。

(岩崎委員)

まさに指導技術に関わることで、引き続き研修の充実を図っていただきたいです。

(工藤教育長)

計画委員会では限られた時間の中でできるだけ多くの意見を出してもらいました。来年度に向けては、今年いただいた意見に対する対応状況についても可能な限り整理したいと思います。

(松田委員)

宿題等の家庭学習に保護者が負担を感じているケースがあるようです。家庭学習の理解度が学校によって違うことが根底にあるのかもしれないと感じています。

(工藤教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、公開でその他、何かございませんか。では、非公開の議事を行いますので、関係課長のみ在室とし、その他の課室長及び傍聴人は退出してください。

(関係課以外及び傍聴人退出)

【議案】

第1号議案 大分県立図書館協議会委員の任命について

(工藤教育長)

では、第1号議案「大分県立図書館協議会委員の任命について」提案しますので、阿南社会教育課長から説明いたします。

(説明)

(工藤教育長)

ただいま説明のありました議案について、審議を行います。ご質問・ご意見のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(工藤教育長)

それでは、第1号議案の承認についてお諮りいたします。第1号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(工藤教育長)

第1号議案については、提案どおり承認します。

第2号議案 大分県立歴史博物館協議会委員の任命について

(工藤教育長)

次に、第2号議案「大分県立歴史博物館協議会委員の任命について」提案しますので、佐藤参事監兼文化課長から説明いたします。

(説 明)

(工藤教育長)

ただいま説明のありました議案について、審議を行います。ご質問・ご意見のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(工藤教育長)

それでは、第2号議案の承認についてお諮りいたします。第2号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(工藤教育長)

第2号議案については、提案どおり承認します。

(工藤教育長)

それでは、最後にその他、何かございますか。
それでは、これで平成29年度第10回教育委員会会議を閉会します。
お疲れ様でした。